

「ふるさと公園」のトンボ(1)

＜アオイトトンボ科＞



オツネイトンボ(オス)
成虫で越冬する。早春に現れる。
肢を縮めて身を伏せるように静止する。



ホソミオツネイトンボ(オス)
成虫で越冬。オスは春になると青くなる。



アオイトンボ(オス)
成熟すると胸部・腹部先端が白い粉を吹く。未成熟個体は、目が茶色である。



(未成熟なメス)



オオアオイトンボ(オス)
成熟しても、白い粉は吹かない。

<イトトンボ科>



ベニイトトンボ(オス)
兵庫絶滅危惧種 A



キイトンボ(オス)
ふるさと公園では夏に多く見られる。



アジアイトンボ(オス)
腹部第9節全体と第10節側面が水色。後頭部に縁取り。



(未成熟なメス)
成熟すると緑色になる。



アオモンイトトンボ(オス)
腹部第8節全体と第9節側面が水色。



(未成熟なメス)
成熟するとオスと同色または暗赤色になる。



オオイトンボ(オス)
腹部の節の青さが鮮やか。
「オオ」とあるが大きくはない。



クロイトンボ(未成熟なオス)
腹部先端が八の字に開いている。
成熟すると、胸部に粉を吹く。

<モノサシトンボ科>



モノサシトンボ(オス)
腹部に物差しのような斑紋があり、目が両脇に飛び出している。オスの肢は白黒。
ふるさと公園では、夏場に多く見られる。



(メス)

<カワトンボ科>



ハグロトンボ(オス)
腹部背面が金緑色に輝く



(メス)
体色は黒褐色

※溪流や細流など流れがある場所で生息するニホンカワトンボやアサヒナカワトンボは、残念ながらふるさと公園では見られない。

<エゾトンボ科>



トラフトンボ(オス)

オスの翅の前縁に黒褐色の条がある。春に現れる。生息地は減少している。



(羽化)



※ふるさと公園には、オオヤマトンボも生息していると思われるが、成体は撮影できていない。

(ヤゴの抜け殻)

<サナエトンボ科>



フタスジサナエ(メス)

小型のサナエトンボ。胸側の黒条が2本。前肩条がある。



交尾の際、3連結になることがよくある。



タベサナエ(オス) 胸側の黒条前方は途切れる。前肩条はない。



オグマサナエ(メス)

胸側の黒条前方は途切れる。胸背面のL字型が前肩条に繋がる個体もある。



(オス)

※3種とも、春によく見られ、混生する。ふるさと公園では、フタスジサナエが多い。



台湾ウチワヤンマ(オス)
大型のサナエトンボ。夏場、棒先や植物の頂部に静止してパトロールする。



コシアキトンボと2シヨット



コオニヤンマ(オス)
サナエトンボ科で一番大きい。胸側に太い2本の黒条。後肢がとても長い。



(メス)



ヤマサナエ(オス)



(メス)

中型のサナエトンボ。胸側に2本の黒条が入る。キイロサナエと酷似する。